

日本小児精神神経学会 学校支援WG

日本小児心身医学会 学校保健委員会 共催

子どものこころと発達を支える 医療と教育の連携事業研修会

子どものこころと発達の問題の予防や解決のために、
複数の学区からなるエリアごとに、小児科医が学校を訪問
して教師とコンサルテーションする方法を検討します。

先進事例から学び、社会実装していくための方策を
たてていきたいと計画中です。

開催日程： 2024年7月21日（日）10:00～15:30

参加受付： 9時30分から開始（予定）

場所： 明治学院大学白金キャンパス本館1301教室

内容： 講演・シンポジウム・ワークショップ

参加費： 2000円

定員： 200人（先着順）

更新単位： 子どものこころ専門医更新・研修講習2単位

日本小児科医会子どもの心相談医更新単位4単位

【問い合わせ先】

tiguchi@ac.cyberhome.ne.jp（担当：井口）

参加申し込みは
こちらから



プログラム

開会のあいさつ 日本小児心身医学会学校保健委員会 井口敏之

1) 基調講演 : 10:05-10:20

明治学院大学心理学部教育発達学科 小林潤一郎

「教師とともに子どものころと発達を支える小児医療の実現に向けて」

2) 学校現場から医療・小児科への期待 : 10:20-10:50 座長 小林潤一郎

管理職、養護教諭の立場から : 川崎市立下河原小学校 校長 菊地美和子

「安心で安全な学習環境を構築するために医療と教育の連携を考える」

特別支援教育の立場から : 横浜市教育委員会人権健康教育部人権教育・児童生徒課
指導主事 永野実生

「特別支援学校のセンター的機能を担当して分かったこと、考えたこと」

3) シンポジウム : 先進事例から学ぶ 座長 太田秀紀

シンポジウムその1 10:50-12:10 (各演者20分)

①【西宮市立こども未来センター診療所小児科 太田秀紀】

「学校訪問支援（アウトリーチ）の実績と近年の傾向について」

②【公立福生病院小児科 五月女友美子】

「公立小中学校の学校訪問」

③【イムス富士見総合病院小児科 森内優子】

「地域の小児科医にできる学校連携」

総合討論その1 11:50-12:10

昼休憩 : 12:10-13:10

シンポジウムその2 13:10-14:30 (各演者20分) 座長 山崎知克

①【滋賀医科大学小児科学講座（小児発達支援学部門） 阪上由子】

「自治体からの助成に基づく巡回相談・ケース会議の実践報告」

②【藤田医科大学医学部精神神経科学講座（児童精神担当） 古橋功一】

「一般公立中学校での精神科学学校医の経験～名古屋市での取り組みを通じて」

③【岐阜大学大学院医学研究科小児科学 加藤善一郎】

「不登校支援事業「あんきに行ける学校プロジェクト美濃」の実践
～学校トラウマを防ぐ地域リエゾン型教育医療連携～」

総合討論その2 14:10-14:30

4) グループディスカッション : 14:30-15:30 座長 井口敏之

子どものころと発達を支える
医療と教育の連携事業研修会